

令和5年度におけるDXの取組について

これまでの取組の成果	現状と課題	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ● 窓口改革による改革への機運上昇 ● DXへの正しい理解促進 ● 意識改革の浸透 ● おくやみコーナー開設 	<ul style="list-style-type: none"> ● 窓口職場以外の巻き込み不足 ● 全庁的な課題への対応の必要性 ● 紙・電話・FAX・押印・現金等、アナログ手段中心の業務 	<p>「窓口改革から全庁改革へ」</p> <p>窓口改革をきっかけとして高まりつつある改革の機運を全体に広げ、さらなる市民の利便性向上及び内部業務の効率化を図り、持続可能な未来都市の実現を目指す。</p>

コンセプト	まずだトランスフォーメーション ～「あたりまえ」を見直して、身近なことから業務改革～	
ターゲット	全庁改革	
プロジェクト	DDXプロジェクト ～できることから どんどん やろう！～	「書かない 行かない まわらない」 みんなに優しい窓口改革プロジェクト
推進体制	DX推進会議	
具体的な取組	5つのレス 1. ペーパーレス 2. FAX・電話レス 3. はんこレス 4. キャッシュレス 5. 市民・職員迷子レス	予算化が必要なシステム等 1. 電子決裁 2. 窓口キャッシュレス決済 3. AIチャットボット等 1. 書かない窓口 2. ライフイベントワンストップ 3. オンライン手続 4. コンビニ交付促進（手数料減免） 5. 窓口フロアレイアウト改修
スケジュール	全庁的に、できることからすぐに取り組む。予算化が必要なものはDX推進会議において優先順位を検討し、予算措置したうえで順次実施	
達成方法	1. 目標数値を設定し、全庁的に取組を推進 2. 進捗状況の見える化によるスピーディなPDCA	1. 窓口業務のBPR 2. システム導入 3. 庁舎改修